

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)



2019年3月期 第1四半期
(2018年4月1日～2018年6月30日)

補足説明資料
2018年7月30日(月)

2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

決算のポイント

① 前期に獲得した自治体向け特需の剥落を、企業向け市場の成長でカバーし増収を確保

- 前期に自治体向け特需あるも、企業向け市場における「i-FILTER」「m-FILTER」の成長等でカバーし増収確保

② 新規導入需要が拡大。戦略的先行投資による積極的な販促活動を展開し、潜在的な案件獲得が進む

- 従来、需要の中心であった大規模組織のみならず、相対的にセキュリティ対策が遅れていた中堅・中小企業における新規導入需要が拡大
- 加えて、IoT・AI等の普及や「働き方改革」の推進に伴い、セキュリティ担当者が管理しなければならぬリスクは益々多様化・高度化し、セキュリティサービスに対する需要は拡大傾向
- 国内事業においては、拡大する新規導入需要に対し積極的な販促活動を展開
- 海外事業については、新CEOの下、組織体制の強化等を推進
- 一時的に第1四半期に費用が集中するも、これらの戦略的先行投資により成長を加速

③ デジタルアーツコンサルティングが引き続き成長

- セキュリティ人材不足および情報セキュリティ対策強化への意識の高まりから、売上が大きく成長し、全社売上の成長に貢献

2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **1,217** 百万円 (前期比 +59百万円 / +5.2%)

前期に獲得した自治体向け特需の剥落を、企業向け市場における成長で補い対前期増収を確保

営業利益

営業利益： **295** 百万円 (前期比 △61百万円 / △17.1%)

対前期増収を確保するも、拡大する国内需要に対する積極的な販促活動の実施、海外子会社でのビジネスプラン推進により投資が先行し、対前期減益となる

経常利益

経常利益： **294** 百万円 (前期比 △65百万円 / △18.2%)

戦略的先行投資の断行により経常利益ベースでも減益となる

親会社株主に帰属する
四半期純利益

四半期純利益： **175** 百万円 (前期比 △82百万円 / △32.1%)

前期はグループ再編等に伴う節税効果があったこと、当期、海外子会社において投資が先行していることから税金費用負担が相対的に拡大

連結業績

(単位：百万円)

項目	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	前期比	通期予想
売上高	1,158	1,217	+5.2%	5,800
売上総利益	925	927	+0.2%	4,700
販売管理費	569	632	+11.1%	2,200
営業利益	356	295	△17.1%	2,500
経常利益	360	294	△18.2%	2,500
親会社株主に帰属する 四半期純利益	258	175	△32.1%	1,619
ROE	4.9%	2.8%	—	—

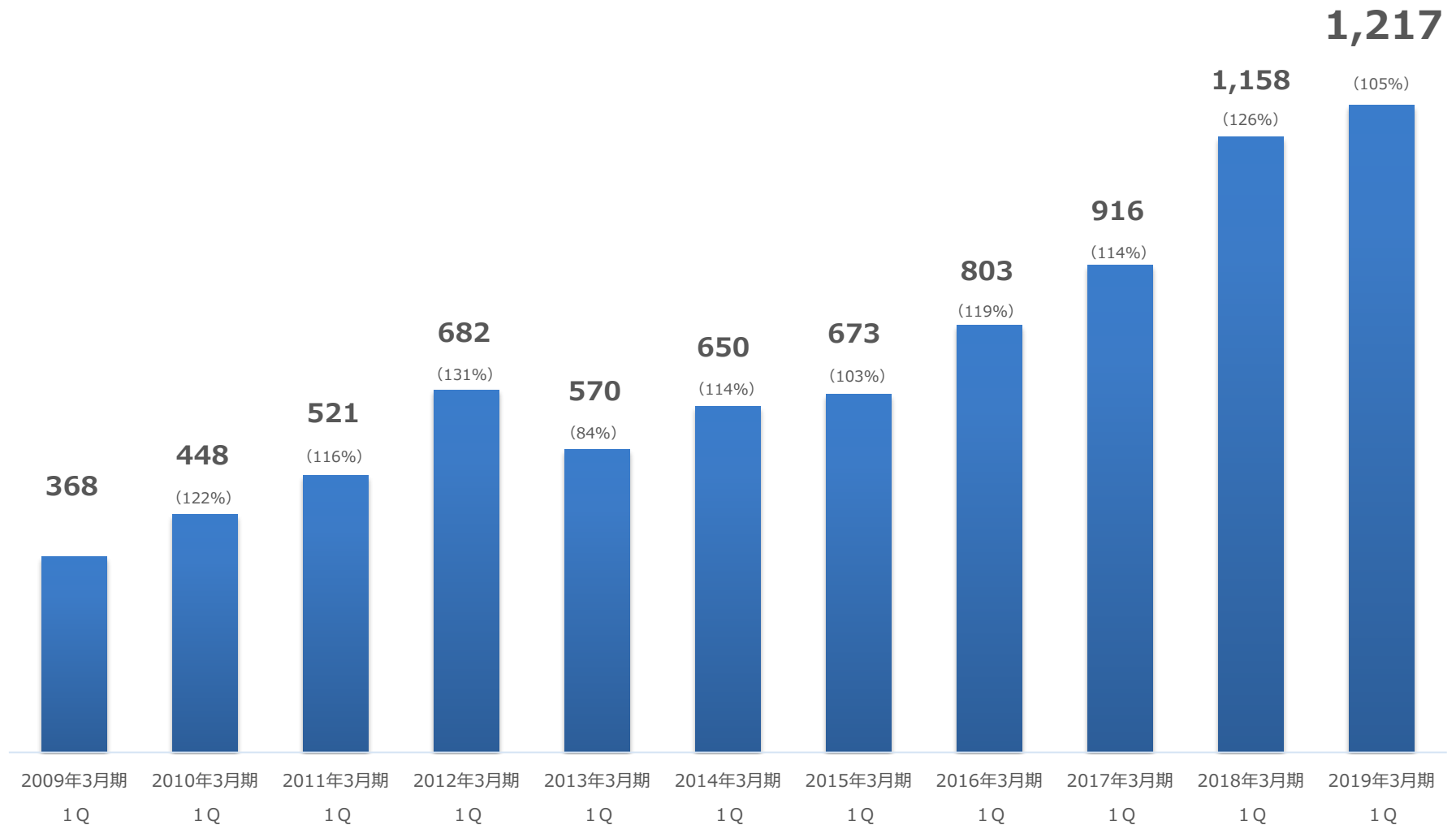
個別（単体）業績

(単位：百万円)

項目	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	前期比	通期予想
売上高	1,162	1,204	+3.6%	5,600
売上総利益	907	926	+2.0%	4,250
販売管理費	518	543	+4.9%	1,900
営業利益	389	382	△1.8%	2,350
経常利益	394	382	△3.0%	2,350
四半期純利益	299	263	△12.0%	1,598
ROE	5.1%	4.1%	—	—

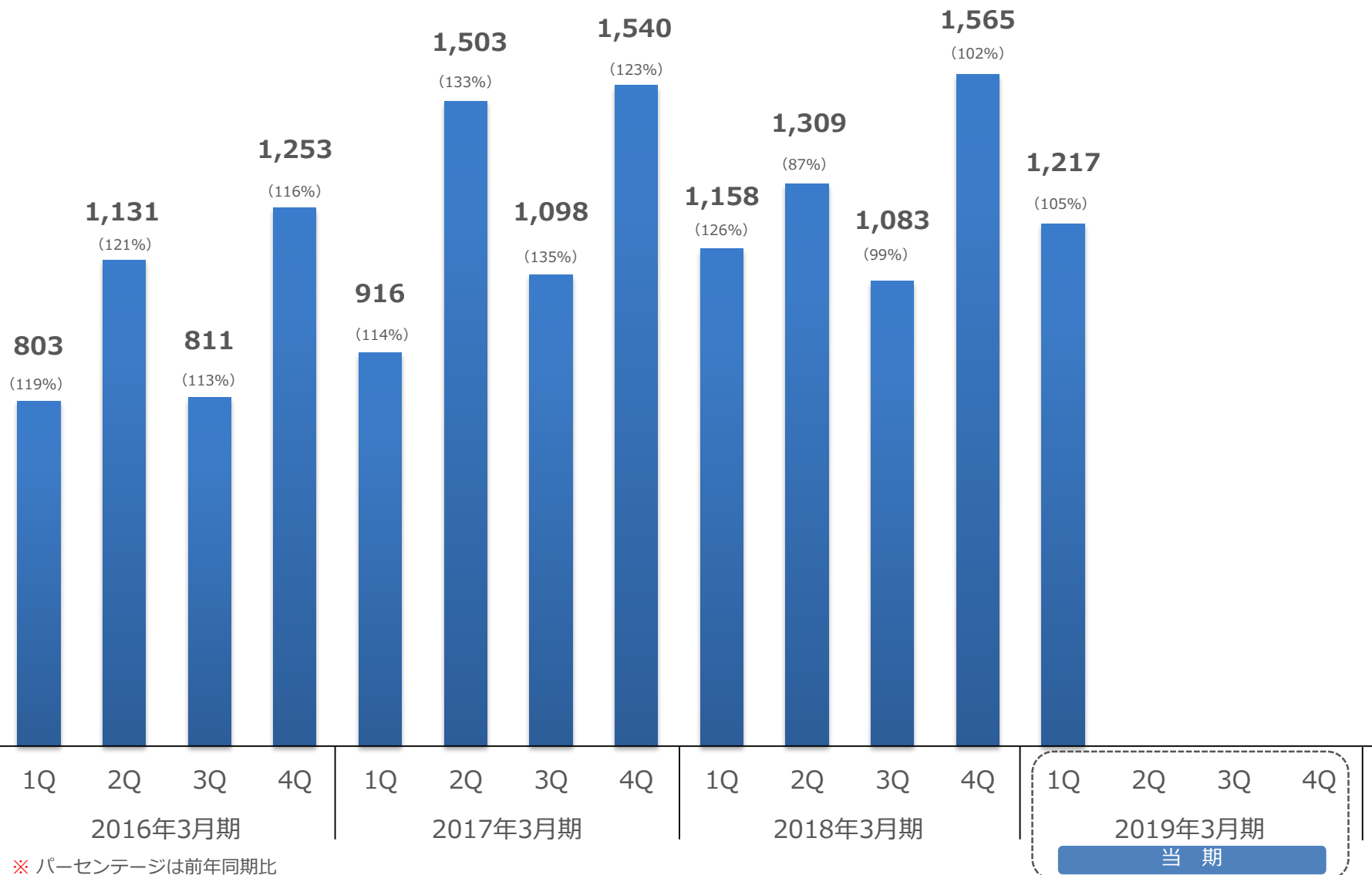
(単位：百万円)

引き続き売上は成長



※ パーセンテージは前期比

新規導入需要は引き続き旺盛。着実に案件を獲得し成長基調を堅持 (単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

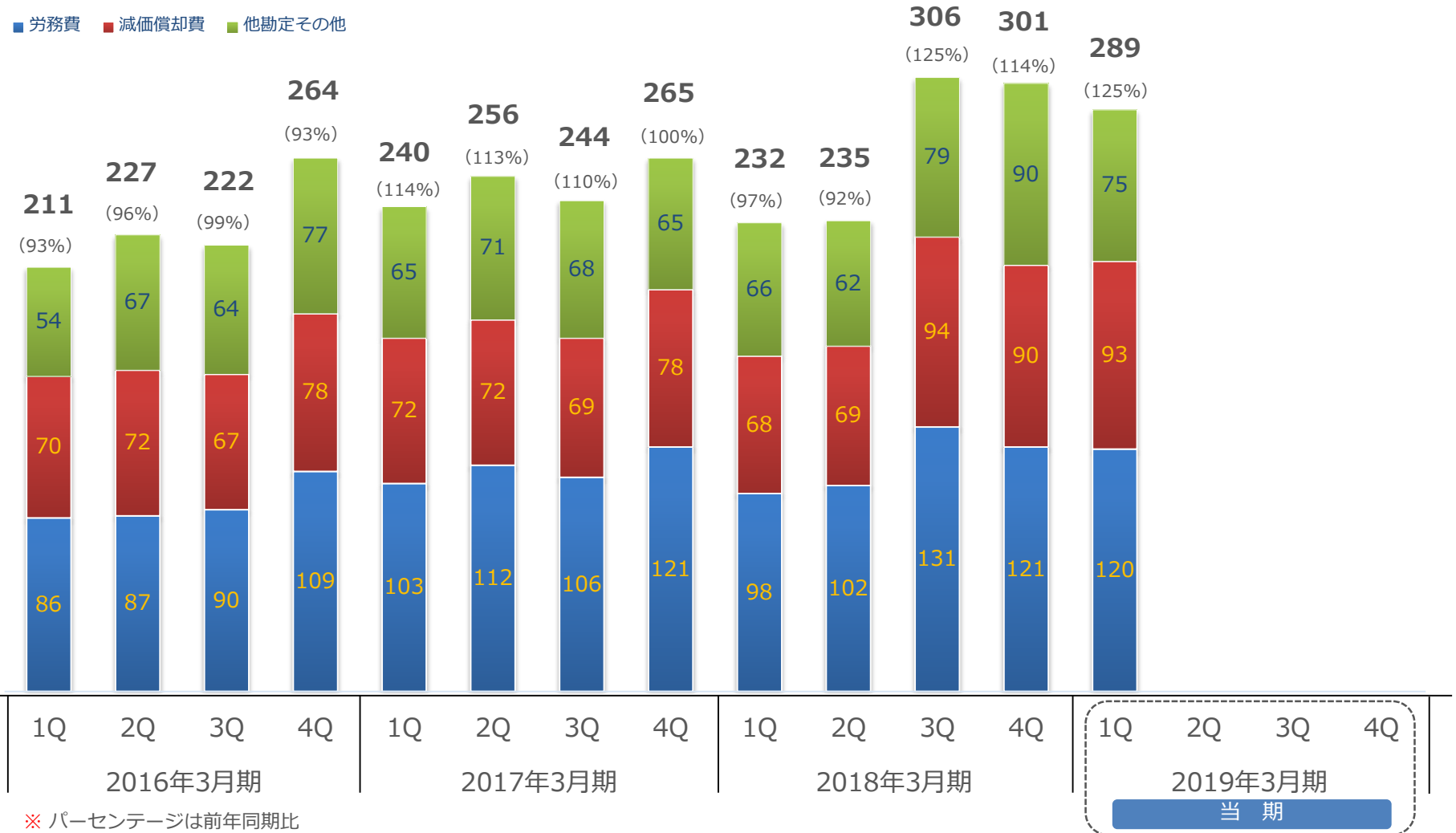
- 国内においては、拡大する新規導入需要をターゲットとした積極的な販促活動を実施。海外においては米国子会社を中心として組織を拡大。成長の加速を目的とした戦略的先行投資を断行した結果、一時的に売上原価・販管費は増加

(単位：百万円)

項目	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	232	289	+57	
労務費	98	120	+22	コンサルティング子会社の成長に伴う増加
減価償却費	68	93	+25	新製品のリリースに伴う償却費増
他勘定振替 その他製造原価	66	75	+9	
販売費及び一般管理費	569	632	+63	
人件費	275	273	△1	
広告宣伝費	98	121	+23	主として国内市場向けに積極的な販促活動を実施したことに伴う費用増
その他	195	236	+41	米国子会社を中心に組織を拡大したことによる増加

(単位：百万円)

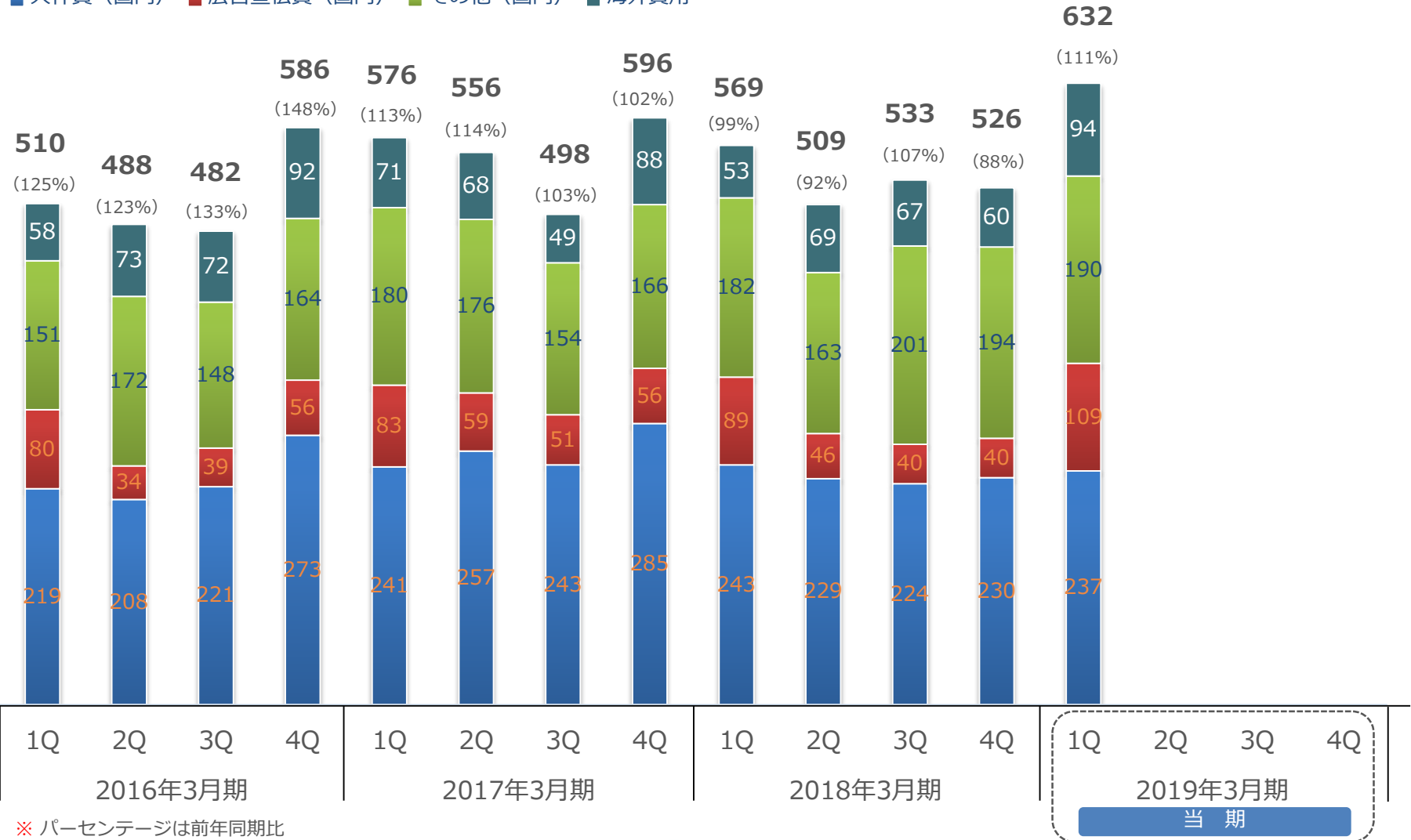
新製品のリリースに伴い減価償却費が増加 コンサルティング子会社の成長に伴い労務費が増加



戦略的先行投資の実施により販管費は増加

(単位：百万円)

■ 人件費（国内） ■ 広告宣伝費（国内） ■ その他（国内） ■ 海外費用



※ パーセンテージは前年同期比

2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

市場別詳細

- 前期に自治体向け特需あるも、連結全体で +5.2% の成長を堅持
- 企業向け市場は、新規導入需要拡大で +7.5% 成長
- 公共向け市場は、前期の特需により減収となるも市場環境は復調
- 家庭向け市場は、格安スマホ市場向け等が好調で +30.0% 成長

連結売上高

売上高： **1,217** 百万円 (前期比 +59百万円 / +5.2%)

企業向け市場

売上高： **688** 百万円 (前期比 +47百万円 / +7.5%)

公共向け市場

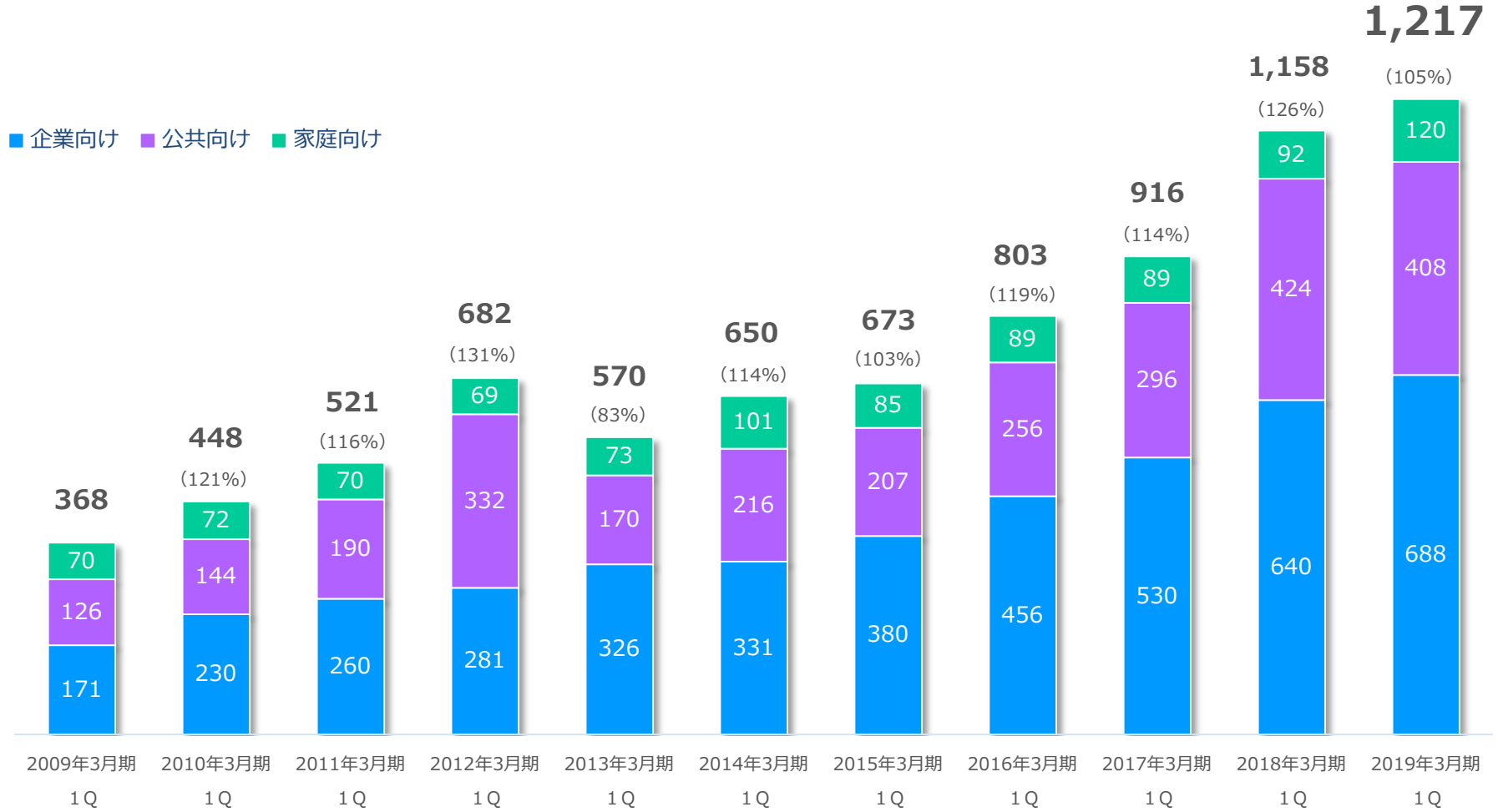
売上高： **408** 百万円 (前期比 △16百万円 / △3.8%)

家庭向け市場

売上高： **120** 百万円 (前期比 +27百万円 / +30.0%)

各市場向け共に成長基調を堅持 第2四半期以降、本格的な成長を狙う

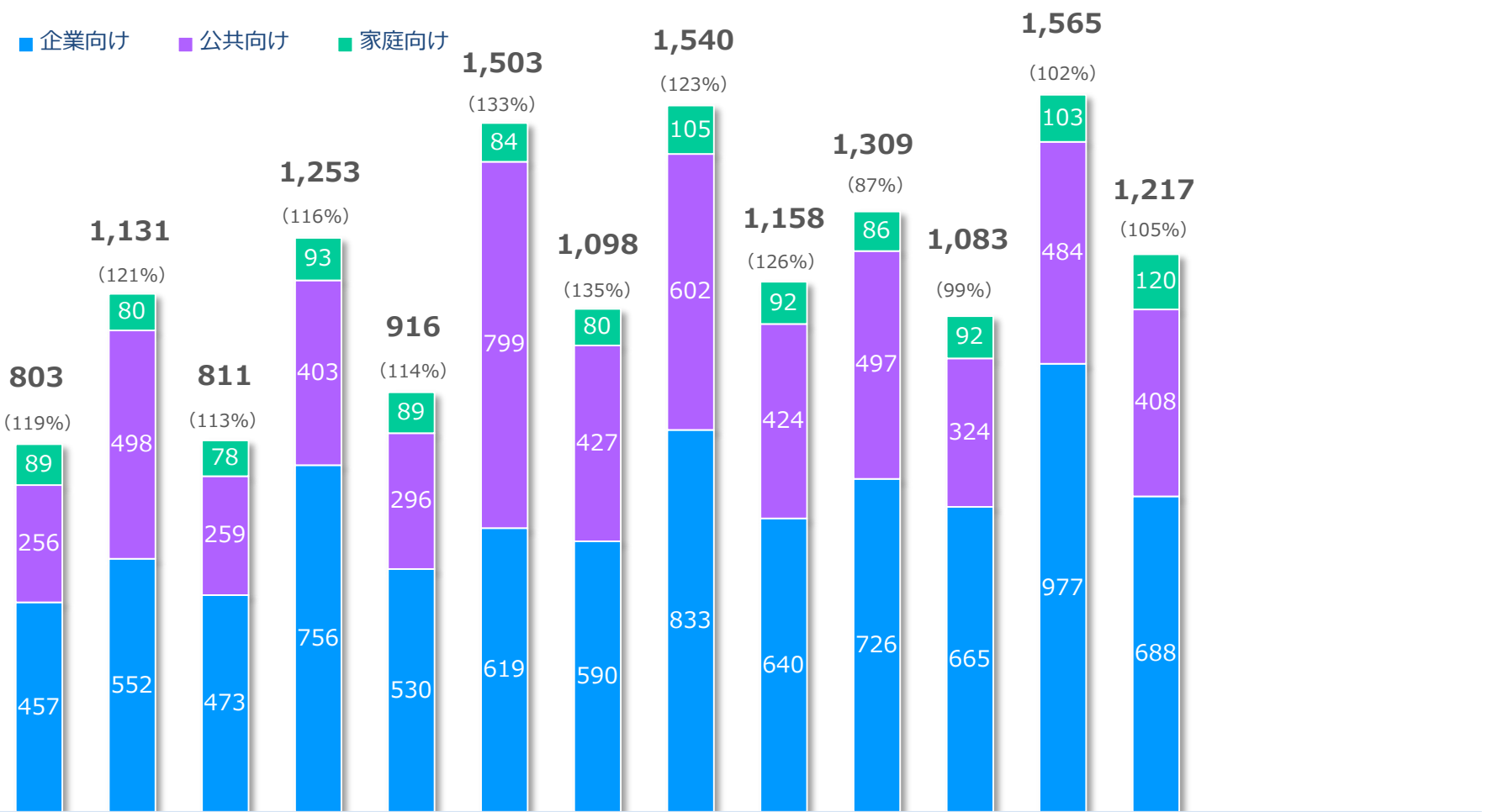
(単位：百万円)



※ パーセンテージは前期比

企業向け市場・家庭向け市場の成長により全社ベースで増収を確保

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

企業向け市場

- 前連結会計年度からの継続案件等を中心に着実に獲得した事により、主力製品である「i-FILTER」「m-FILTER」の販売が堅調に推移
- 「FinalCode」は、前連結会計年度末に受注した大型案件が売上の成長に貢献

i-FILTER
Series

前年同期比 **96.9 %**



m-FILTER
Series

前年同期比 **110.4 %**



FINALCODE 前年同期比 **200.9 %**



2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

公共向け市場

- 前期に総務省主導のセキュリティ強化に関する特需が含まれていたものの、主力製品である「i-FILTER」「m-FILTER」の販売が堅調に推移し、公共向け市場全体で前期並みの売上を確保
- 前期にFinalCodeの大型案件があったことにより、減収となるも、新規導入需要は復調。第2四半期以降、本格的な成長を狙う

i-FILTER
Series

前年同期比 **100.6 %**



m-FILTER
Series

前年同期比 **110.4 %**



FINALCODE

前年同期比 **34.7 %**



2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

- 携帯電話事業者やMVNO事業者等と連携、1つのシリアルIDで複数OSでの利用が可能な「i-フィルター for マルチデバイス」の販売を推進
- 個人向けパソコンの国内出荷台数の減少等、厳しいビジネス環境が続く中、複数年パッケージ製品や「i-フィルター for マルチデバイス」が順調に伸び、売上は底固く推移

パソコン版

前年同期比 **114.2 %**

ゲーム機/TV版

前年同期比 **104.2 %**

モバイル端末版

前年同期比 **168.9 %**

i-フィルター



2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2019年3月期 通期業績予想

2019年3月期 連結業績予想

- 国内市場においては、前期9月に発売した新製品の販売を強化
- 加えて、クラウドサービスを今期5月に開始し、当該分野での成長を加速
- 国内外の関連子会社等については、期首予算上は保守的に見込む

項目	2018年3月期実績	2019年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,116 百万円	5,800 百万円	13.3 %
売上総利益	4,041 百万円	4,700 百万円	16.3 %
販売管理費	2,138 百万円	2,200 百万円	2.9 %
営業利益	1,902 百万円	2,500 百万円	31.4 %
経常利益	1,909 百万円	2,500 百万円	30.9 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,281 百万円	1,619 百万円	26.3 %
1株当たり配当金	28 円	36 円	—

2019年3月期 個別業績予想

- 国内市場においては、前期9月に発売した新製品の販売を強化
- 加えて、クラウドサービスを今期5月に開始し、当該分野での成長を加速

項目	2018年3月期実績	2019年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,046 百万円	5,600 百万円	11.0 %
売上総利益	3,986 百万円	4,250 百万円	6.6 %
販売管理費	1,898 百万円	1,900 百万円	0.1 %
営業利益	2,087 百万円	2,350 百万円	12.6 %
経常利益	2,097 百万円	2,350 百万円	12.0 %
当期純利益	860 百万円	1,598 百万円	85.7 %

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

2019年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の30.9%

2019年3月期年間剰余金配当予想額は **1株当たり36.00円**

	1株当たり配当金（円）			連結配当性向
	中間	期末	合計	
2018年3月期	14.00	14.00	28.00	30.3%
2019年3月期（予想）	18.00	18.00	36.00	30.9%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File ScanおよびD-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-